

花に彩られたまちづくり 高千穂町花の日キャンペーン

8月7日、高千穂町花の日推進会議(会長・甲斐宗之町長)が町内11事業所を訪れ、リンドウや小菊、ケイトウ、マリーゴールド、ホオズキを贈りました。

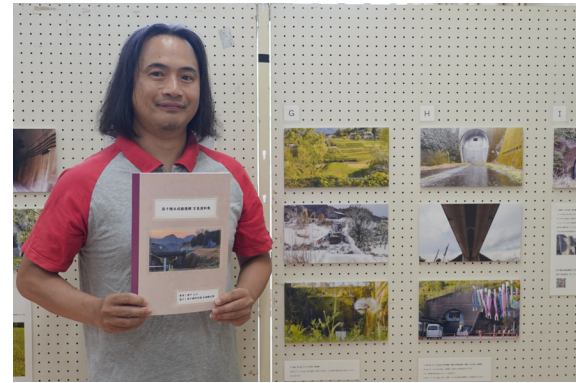
町では、花卉栽培の振興と花に彩られた住みよい町づくりの推進のため、8月7日を「高千穂町花の日」として制定しています。各事業所から「美しい花をいただき感謝いたします。事務所に飾ってみなさんにお披露目したい」と言葉をいただきました。



旧国鉄高千穂～高森間の記憶 高千穂末成線遺構写真展

8月1日から16日まで、高千穂末成線遺構写真展が町コミュニティセンターにて開催されました。この写真展は、企画観光課地域おこし協力隊の倉戸力さんによる、高千穂末成線遺構の観光活用に向けた体験型プログラム造成への取組みの一つとして開催。

「身近にある末成線遺構が観光資源としてなり得ることを、町民の皆さんに広く知ってもらいたい」と述べていました。



ウナギ捕まえたよ 高千穂町釣り大会開催

8月2日、高千穂町釣り大会(上野川釣り大会実行委員会主催)が上野出張所付近の上野川にて行われ、子ども連れの家族や釣り愛好家ら約150人が参加し、ヤマメやニジマスを釣り上げていました。

子どもを対象とした魚のつかみどりも開催され、ヤマメやニジマス、ウナギなどが放流された専用のエリアでは、たくさん子どもたちが魚を捕まえようと熱心に追いかけていました。



鳴り響く勇壮な音 和太鼓奏者「佐藤健作氏」奉納演奏

7月30日、和太鼓奏者の佐藤健作さんによる奉納演奏が、高千穂神社拝殿前にて行われました。佐藤さんは、東京オリンピック閉会式などで演奏をするなど、世界的に活躍されており、今回は「たまゆら」や「ちはやぶる」などの演目を披露されました。

演奏後には「熊本地震で被害に遭われた方々へ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。日本、世界の平安を願って演奏しました」と述べていました。



高千穂町観光の新たな第一歩へ 高千穂町観光協会新社屋竣工式

8月19日、(一社)高千穂町観光協会(竹尾通洋会長の新社屋が完成し、竣工式が行われました。式には約170人が出席。神事が行われたあと、三田井地区神楽保存会による「住吉」が奉納されました。

竹尾会長はあいさつで「この新社屋を拠点に、観光客数200万人を目指し、日本一の神話のまちづくり、世界一の観光地を目指していきたい」と述べていました。

新社屋は全国的にも珍しい木造3階建てで、宮崎県産のスギやヒノキがふんだんに使用されています。



姉妹都市交流 戸隠地区 高千穂町ホームステイ

8月4日から7日までの4日間、姉妹都市交流事業で長野県長野市戸隠地区の児童2人が町内でホームステイを行いました。

2人はそれぞれ受け入れ先のホストファミリーと町内の観光地を巡り、花火をするなどして交流を深めていました。

お別れ式では「九州のポテトチップスの味比べができて楽しかった。トロッコ列車ではトンネルやシャボン玉がきれいでした」と感想を述べていました。



交通事故の無い地域を 交通事故死ゼロ市町村表彰

8月3日、交通事故死ゼロ市町村表彰が行われ、宮崎県より高千穂町へ表彰状が贈呈されました。

この表彰は、交通死亡事故ゼロ日数を長期間継続している市町村に対し贈られ、本町は令和6年12月から令和8年6月まで545日間、交通事故による死亡事故がありませんでした。

町長は挨拶で「これからも交通死亡事故ゼロの記録が続いていくよう、地域一体となって取り組んでいきたい」と述べていました。

